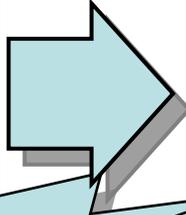


地域経済活性化行動計画

経済対策規模約110億円の2月補正予算と 来年度予算を一体のものと捉えて!!

地域経済の 早期回復



対症療法

地域の底力

5 雇用対策

- 雇用安定化事業補助金【10,000千円】(P.9参照)
中小企業緊急雇用安定助成金申請手数料補助

1 技術開発支援

- 売れるものづくり支援事業【40,343千円】(P.1参照)
補助上限額の引き上げなど
- 技術開発、産学共同開発、新商品企画開発、ビジネスプランオーディション(地場産センター)

2 販路開拓

- 売れるしくみづくり支援事業【16,163千円】(P.2参照)
見本市企業グループ出展支援など
- 優しいまちなか創造事業
買い物御用聞きシステムの試験運用
- 展示会出展、新事業創出プロジェクト、企業情報・IT支援(地場産センター)

3 情報発信

- 三条鍛冶キャラバン事業【14,119千円】(P.3参照)
移動式産地PR車両の整備など
- 三条PR事業【9,074千円】(P.4参照)
PR映像、冊子作成など
- 地域産品販路開拓・ブランド発信事業【8,000千円】(P.5参照)
首都圏等情報発信

定額給付金と連動して!!

6 中小企業経営安定化対策

- 中小企業経営安定化緊急対策資金信用保証料助成事業【281,600千円】(P.10参照)
融資総枠14億円→80億円に拡大 ※H20とH21の総枠130億円を想定
- 建設事業の早期発注【370,920千円】(P.11参照)
小規模維持補修工事、幹線道路整備事業など
- 制度融資預託金

4 需要喚起

- 消費拡大推進事業【65,160千円】(P.6参照)
プレミアム商品券発行(プレミアム率20%・発行額360,000千円)など
- バイ三条モデル事業【10,000千円】(P.7参照)
各種ものづくり講習への三条産品の活用
- 商店街活性化事業補助金【2,500千円】(P.8参照)
イベント事業補助金

7 人材育成

- 中小企業大学校受講料補助金【2,000千円】(P.12参照)
- 伝統的鍛冶技術継承事業
各種講座の実施
- 伝統的工芸品活用研修事業
各種講座の実施
- 各種セミナーの開催(地場産センター)

8 農業活性化プラン

- 農産物の高付加価値化 ⇨ 1 技術開発支援
高品質農産物生産
- 販路開拓 ⇨ 2 販路開拓
多様な販売チャンネルの獲得
- 人材育成 ⇨ 7 人材育成
多様な人材育成に向けた検討
- 地産地消 ⇨ 2 販路開拓
地産地消運動

- 安心・安全なまちづくり【26,238千円】(P.13参照)
・新型インフルエンザ等感染症対策
・消防指令設備・消防資機材整備事業
・地域防災力強化事業… 緊急告知FMラジオ整備等
- 子育て応援特別手当【53,837千円】(P.14参照)
小学校就学前3年間の第二子以降の児童世帯へ36,000円/人

- 定額給付金給付事業【1,673,704千円】(P.15参照)
給付額12,000円/人(18歳以下及び65歳以上は20,000円/人)
- 地域活性化・生活対策臨時基金積立金【97,000千円】(P.16参照)
地域活性化等に資する事業に充当するための基金 など

事業メニューの太字記載は、2月補正予算を示す。

※燕市と共同で地場産業振興センターにおいて行う事業は、後日詳細を発表する。

売れるものづくり支援事業

「農商工連携」や「産学官連携」などのコンソーシアムによる取組を推奨しながら、必要な調査研究事業及び製品開発事業に対して支援を行うもの。【40,343千円】

【現状】

- ・米欧発の金融不安が製造業を直撃
- ・多くの市内企業の業況が大幅に悪化
→輸出型企業では特に影響が大

【業界の要望】

- ・不況の時こそ「研究・技術開発」を通した新製品の開発が必要

【課題】

- ・自己資金による調査・開発が困難
- ・単独企業での取組には限界がある
- ・新分野・新市場への進出が不可欠

【対応】

★新規の調査・開発支援事業を創設★

- ・補助額及び補助率を大幅に増大
- ・補助対象経費の拡大

★売れるものづくり支援事業補助金★

【事業概要】

- ・補助率：**総事業費の4/5**
(従来1/2を拡充)
- ・補助額：**上限4,000千円**
(従来1,000千円を拡充)
※高度な開発は、2,500千円
- ・対象業種は1～3次産業と広範囲

【事業分類】

- ・調査研究事業：1,000千円×4件
(従来、1,000千円×1件程度)
- ・製品開発事業：4,000千円×9件
(従来、1,000千円×1件、
2,500千円×1件程度)

※新規事業の採択件数は予定

地域産業の新製品開発・競争力確立

売れるしくみづくり支援事業

厳しい経済環境に対応して、市内中小・零細企業が新たに販路開拓するための取組を、見本市という場を活用して、市場調査からブース出展まで広範囲に支援するもの。【16,163千円】

【現状】

- ・米欧発の金融不安が製造業を直撃
- ・多くの市内企業の業況が大幅に悪化
→輸出型企業では特に影響が大

【今後の展望】

- ・米欧の経済回復には長期間を要する
- ・経済牽引役を米国に期待するのは困難



新分野進出・販路開拓への
取組が不可欠

★見本市等を活用した販路開拓を支援★

【課題】

- ・見本市に出展する費用がない！
- ・見本市に出展するノウハウがない！

【対応】

- ・見本市への出展を支援
- ・見本市でのセミナー開催を通して
出展ノウハウや市場調査を支援

★売れるしくみづくり支援事業補助金★

【事業概要】

- 市借り上げブースへの出展支援事業
→ **出展企業の旅費・宿泊費を補助**

(補助額=上限20千円)

(従来支援制度なし)

- 企業グループ出展支援事業

→ 組合または団体の見本市出展を補助

(補助率=4/5、補助額=2,000千円)

(従来1/2、1,000千円を拡充)

- 販路開拓勉強会支援事業

→ **市が企画する勉強会への出席を補助**

(補助額=上限20千円)

(従来支援制度なし)

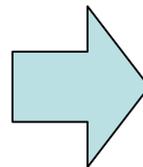
技術力・製品品質力のPRと販路開拓の推進

三条鍛冶キャラバン事業

三条市を代表する地域資源である鍛冶の実演及び製品の展示即売可能な移動式産地PR車両を整備し、三条鍛冶道場及び首都圏・他産地等でのイベントへの出店を行う。【14,119千円】

【背景】

- ・消費者から顔の見えない製造者
- ・製造者に届きづらい消費者の声
- ・三条鍛冶道場の活用



【課題】

- ・産地イメージ発信の必要性
- ・ユーザーニーズに配慮した製品開発
- ・三条鍛冶道場への物販機能の付加

【事業概要】

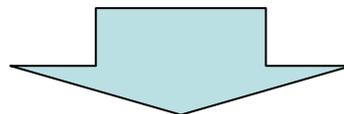
移動式産地PR車両の整備

- ・トラックの機械整備、デザイン整備
- ・ハイエンド商品・研ぎ設備の搭載



実演・販売の実施（事業委託）

- ・専門家による初動アドバイス
- ・販売補助員の雇用
- ・平時は三条鍛冶道場に施設を設置
- ・首都圏、他産地等でのイベント出店



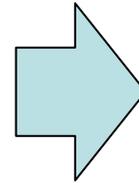
三条産地の魅力発信、販路・ニーズの掘り起こし、三条鍛冶道場への誘客

三条PR事業

当市の魅力PR手段としてDVD、ビデオ、冊子などの啓発用素材を揃え、プロモーション事業を通して活用し、誘客、定住促進、産業に対する理解向上を図る。【9,074千円】

【現状】

- ・市をPRする情報発信の手段が、観光パンフレットやホームページなど限られている。
- ・ものづくりに関わる歴史や文化を簡易に説明した資料がない。



【課題】

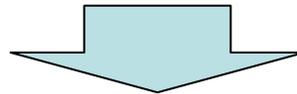
理解しやすく、利便性の高いPRのツールが必要

【概要】

- ・三条市の産業や観光、食など様々な魅力を映像化したDVDやビデオの作成
- ・日本語の他、英語と中国語の多言語で紹介
- ・当市のものづくりに関わる歴史や文化をPRする冊子を作成

【利用方法】

- ・海外見本市、企業の商談、観光客の誘致、首都圏でのプロモーション、教育機関等への配布



三条市の知名度向上、誘客の増加、交流の促進、地域経済の活性化

地域産品販路開拓・ブランド発信事業

地域ブランドの確立に向けて、三条発の美味しさと高い技術を全国に発信する。【8,000千円】

時期：9月の連続する3日間

場所：首都圏（豊島区内）

- 内容：①ナシ、モモ、ブドウ
など農産物の展示販売
②包丁、キッチンツール、
工具など工業製品の展
示販売
③鬼踊りなどの公演
④石川雲蝶など紹介

時期：11月の連続する3日間

場所：首都圏（ネスパス）

- 内容：①コメ、洋ナシ、サツマ
イモなど農産物の即売
②包丁、キッチンツール、
工具などの工業製品の
即売
③三条産食材を使った料
理で交流会の開催

時期：11月の連続する3日間

場所：関西圏（箕面市）

- 内容：①コメ、洋ナシ、サツマ
イモなど農産物の即売
②包丁、キッチンツール、
工具などの工業製品の
即売
③三条産食材を使った料
理で交流会の開催、
④ものづくり体験実施

（仮）三条の魅力在全国に届ける事業実行委員会

商工業者への出展参加依頼、
産地産品のPRなど

越のしらさぎなど地元産品の
PR

農産物生産者への出展参加案内、果
樹やコメなどPRなど

栄
商工会

三条
商工会議所

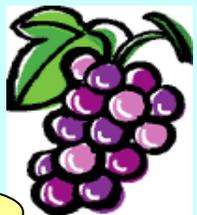
下田
商工会

JAにいがた
南蒲

三条市

大谷地和紙など地元産品のPR

実行委員会の開催、DCの
受皿となる、歴史や文化など
の情報の発信など



消費拡大推進事業

需要を喚起し地域を元気にするため、商工会議所から要望のあったプレミアム付き商品券の発行と商品券発行イベントを開催し、個人消費の拡大により地域経済活性化を図る。【65,160千円】

●プレミアム商品券発行負担金【63,600千円】

- 主体：商工会議所、商工会、JAで組織する協議会
- プレミアム率：**20%**
- 販売価格：1セット 10,000円（セット内容 1,000円×12枚）
- 販売総額：**販売額 3億円**（発行額 3億6千万円）

定額給付金給付と連動し実施

効果の拡大

●消費拡大推進事業イベント開催負担金【1,560千円】

- 商品券の発売PRと地域のにぎわい創設に向けたイベントを開催



個人消費マインドの高揚、消費拡大の推進

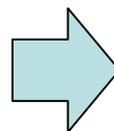
地域経済活性化

バイ三条モデル事業

小中学生を中心とした市民に、三条市の魅力ある産業の実態を伝えることを目的として、公共施設のものづくり体験用道具類に三条製品を積極的に導入し、これを活用した各種ものづくり講習を行う。【10,000千円】

【背景】

- ・生活と製造現場の距離感
- ・生活の機械化と道具の存在感希薄化
- ・物流の国際化と顔の見えない製造者
- ・世界的不況による消費の沈滞

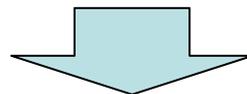


【課題】

- ・若年就業希望者の3次産業志向
- ・持続可能な生活スタイルの再評価
- ・産地イメージ発信の必要性
- ・地域産業への需要喚起

【事業概要】

- ・利器工匠具、作業工具をはじめとする三条製品の積極的導入を推進
 - ・納入企業による講座協力（工場見学・道具についての座学等）
- 《対象施設：小中学校、生涯学習施設（公民館等）》



道具文化・ものづくり文化のPR、三条製品の魅力発信
三条市産業構造の再認識、市内企業製品の消費促進

商店街活性化事業補助金

商店街が実施する活性化事業に対し補助を行い、地域商店街及び地域経済の活性化に資する。
【2,500千円】

【背景】

- ・ モーレゼーションの進展と核家族化
- ・ 商業施設の郊外立地
- ・ 空き店舗の増加
- ・ 商店街の空洞化
- ・ 商店街のにぎわい衰退



【課題】

※中心市街地に関する県民意識調査・消費動向調査結果

- ・ にぎわいを取り戻して欲しい ※
- ・ 活性化が必要 ※
- ・ 地域に根ざした商店街の強みが活かされていない
- ・ 「お客様にお越しいただく」機会を創出する必要

【商店街活性化事業補助金】

補助対象	市内商店街
補助率	4/5以内 (従来1/2を拡充)
補助限度額	500千円/1件



地域商店街の活性化⇒地域経済の活性化

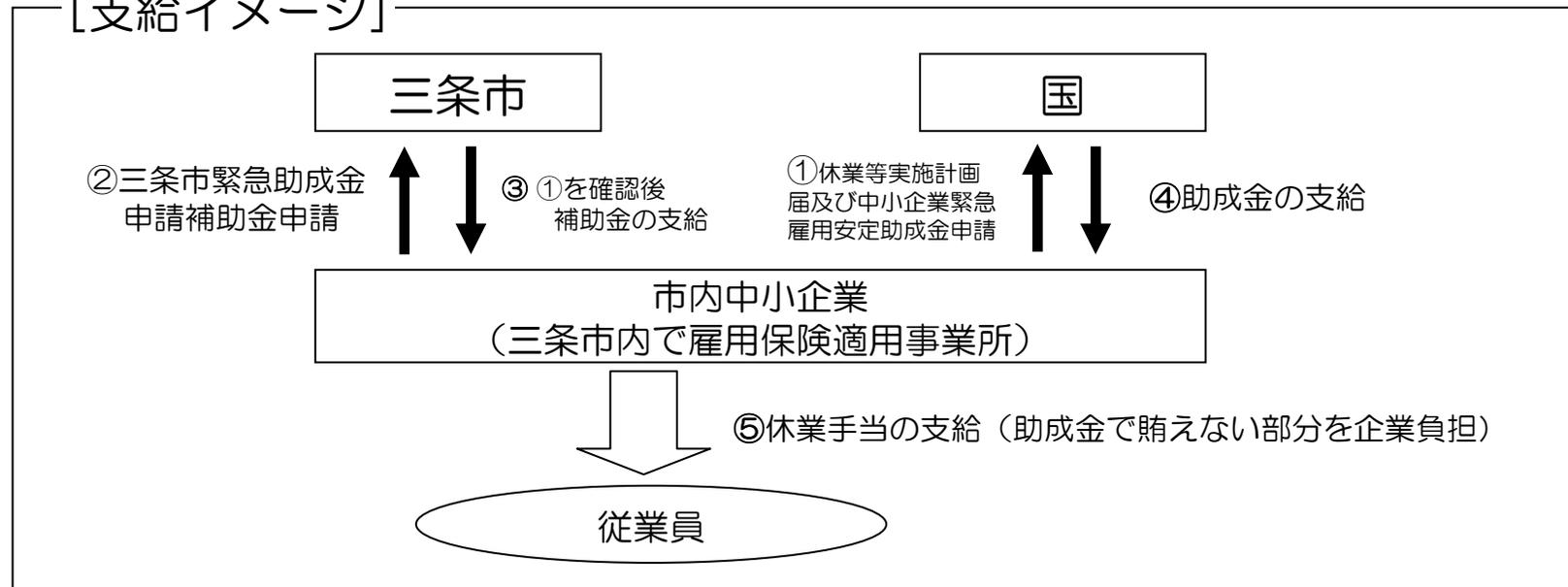
コミュニティのひろがり
人々が集う魅力あるまち

雇用安定化事業補助金

雇用の継続維持に努力をしている企業に対し、「休業等実施計画届書」及び「中小企業緊急雇用安定助成金申請書」を作成するための手数料を補助することにより、雇用の維持を促進し、解雇・失業の予防を図る。【10,000千円】

【内容】 三条市内で雇用保険適用事業所となっている事業所が、「休業等実施計画届及び中小企業緊急雇用安定助成金」の申請を**社会保険労務士に依頼して行う際**、その手数料を補助金として支給する。ただし、上限10万円とする。

[支給イメージ]



中小企業経営安定化緊急対策資金信用保証料助成事業

市内中小企業者が、本市制度融資を利用する際に支払う信用保証料の全額を市が助成することにより、中小企業者の負担を軽減し、経営安定を図る。【281,600千円】

【現状】

- ・世界的な金融危機と円高等により経営に支障をきたしている中小企業を支援
- ・「中小企業経営安定化緊急対策資金」創設
1月26日から運用開始
- しかし・・・

予想を上回る利用



★すでに予算枠**14億円**が底をつく見込み



【対応】

融資総枠の確保が急務

補正予算の対応により
総枠**80億円**を確保
(H20予算)



更に

H21

予算と合せ総枠

130億円

を想定



14億円

融資総枠の拡充

80億円

更に拡充

130億円

(想定)

【中小企業経営安定化緊急対策資金の概要】

融資限度額 1,000万円以内

利 率 7年以内 **年1.85%(県内トップレベルの低金利)** 7年超 年2.05%

信用保証 **信用保証料の全額を市が補助** (原則として新潟県信用保証協会の緊急保証付き)

建設事業の早期発注

小規模維持補修工事、幹線道路整備事業及び農山漁村活性化プロジェクトの早期発注を行う。【370,920千円】

●小規模維持補修工事【51,600千円】

保育所、小・中学校、その他公共施設の施設・設備の維持・補修を行うもの。

○公立保育所整備事業

保育所保育室エアコン設置、施設フェンス設置等の維持修繕工事 ほか

○小・中学校施設整備事業

落下防止柵設置、放送設備・照明設備等改修などの維持修繕工事 ほか
その他維持補修工事



●幹線道路整備事業【307,200千円】

地域経済・市民生活の重要な活動基盤である幹線道路の整備を図るもの。

○都市計画道路半ノ木一ツ屋敷線道路改築事業

道路改築工事（L＝220m）、測量・試験、物件補償 ほか

○市道金子吉田線道路改良事業

道路改良事業（L＝1,200m） ほか

○市道福島新田甲13号線外2線道路改良事業

橋梁架替工事（L＝15m、1橋） ほか



●農山漁村活性化プロジェクト支援【12,120千円】

農業の活性化と「強い農林水産業」を目指し、営農環境の改善を図るもの。

○塚野目地区基盤整備促進事業

排水路改良工事（L＝100m）、測量・試験 ほか



中小企業大学校受講料補助金

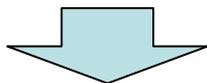
中小企業大学校三条校で行う経営や技術等の研修を受講する市内中小企業者又はその従業員の受講料補助を行うもの。【2,000千円】

【現状】

- ・不況の時こそ「研究・技術開発」という業界の声
- ・金属加工等を始めとした産業技術の高さ
- ・これらを最大限活かすため、企業経営をトータルで捉えた人材育成の必要

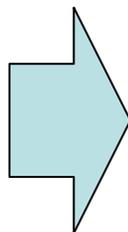
【課題】

- ・中小企業の研修費用負担
- ・研修参加時の生産体制の確保



【対応】

- ・今こそ、人材能力開発のチャンスと捉える
- ・1企業同一研修の補助者数制限を緩和
- ・補助金予算枠を拡充

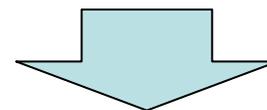


★中小企業大学校受講料補助金★

【事業概要】

補助対象 市内中小企業者とその従業員
各研修ごとに**1企業2名**まで
(これまでの「1企業1名」を拡充)

補助率 **1/3**



人材能力開発による
産業の振興、地域産業の活性化

安心・安全なまちづくり

新型インフルエンザ等感染症対策の強化、消防指令設備・消防資機材整備、緊急告知FMラジオ等を整備し、安心・安全なまちづくりを進める。【26,238千円】



●新型インフルエンザ等感染症対策【 11,565千円】

- 消防用感染症防護資器材購入費（6,858千円）
- 予防業務従事者感染症予防用品購入費(4,707千円)



●消防指令設備・消防資機材整備事業【 8,544千円】

- 携帯・IP電話発信位置通知システム構築委託料（2,982千円）
- 救急・救助用備品購入費(1,162千円)
- 消防団救助用資機材購入費(4,400千円)(55部)

安全・安心なまち



感染症予防対策

消防設備等整備

防災力強化

●地域防災力強化事業【 6,129千円】

- 緊急告知FMラジオ整備業務委託料（5,940千円）(522台)
- 同報系防災行政無線戸別受信機整備業務委託料(189千円)(10台)



子育て応援特別手当

子育て家庭を支援するため、小学校就学前3年間の幼児教育期の第2子以降の児童世帯に子育て応援特別手当を支給する。【53,837千円】

【目的】

現下の厳しい経済情勢において、多子世帯の子育て負担に対する配慮として、第2子以降の児童について、特別手当を支給するもの。

【支給額】

支給対象児童1人につき **36,000円**

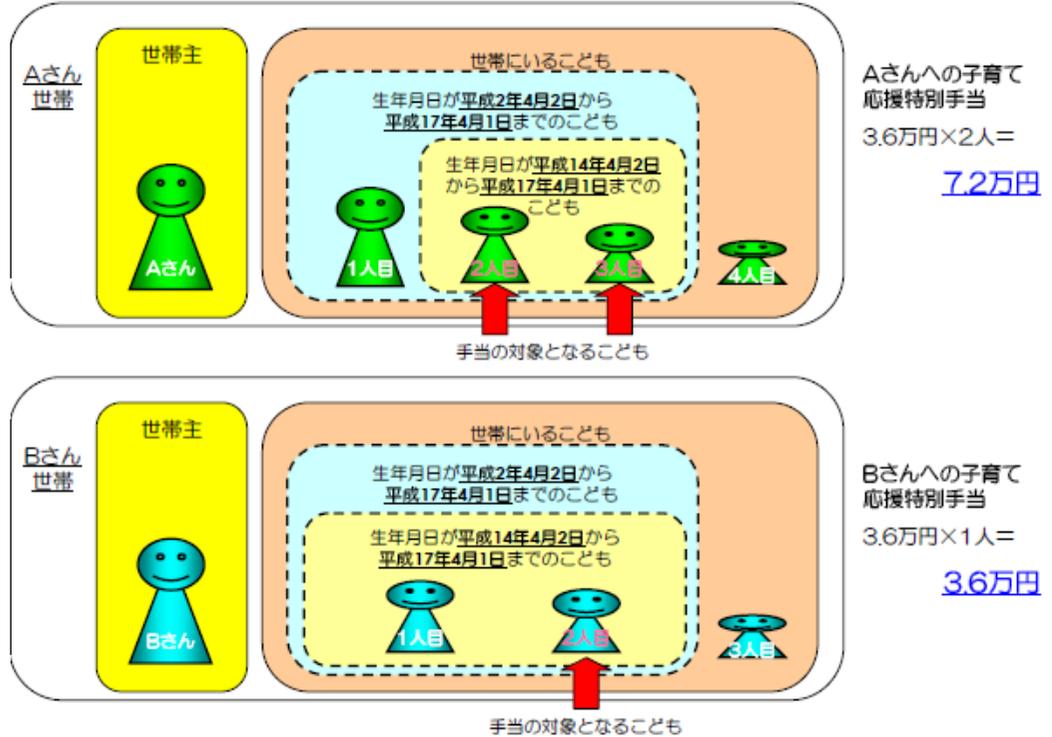
【支給対象となる子】

平成20年度において、世帯に属する3歳以上18歳以下の子が2人以上いる世帯で、**小学校就学前3年間に属する子(平成14年4月2日から平成17年4月1日までの間の生まれ)**で、**第2子以降である児童**が対象



【モデルケース】

子育て応援特別手当 (Aさん、Bさんの場合)



定額給付金給付事業

住民への生活支援と地域の経済対策に資するため、定額給付金を給付する。【1,673,704千円】

【目的】

景気後退下での住民の不安に対処するため、同給付金を給付することにより住民への生活支援を行うことを目的とし、あわせて、住民に広く給付することにより地域の経済対策に資するもの。

【給付対象者】

基準日(平成21年2月1日)において次の要件のいずれかに該当する方

- ア 住民基本台帳に記録されている方
- イ 外国人登録原票に登録されている方

【給付額】

1人につき 12,000円

(ただし、基準日において「18歳以下の方」及び「65歳以上の方」については、1人につき20,000円)

65歳以上の方

⇒ 昭和19年2月2日以前に生まれた方

18歳以下の方

⇒ 平成2年2月2日以降に生まれた方

【給付開始日】

3月末の第1回目給付(口座振込み)を目途

定額給付金給付事業

給付総額

16億3千万円

給付対象者数

106,000人

連動

消費拡大推進事業

「プレミアム商品券発行」
プレミアム率:20%
発行額:3億6千万円



大きな地域経済効果が生まれる

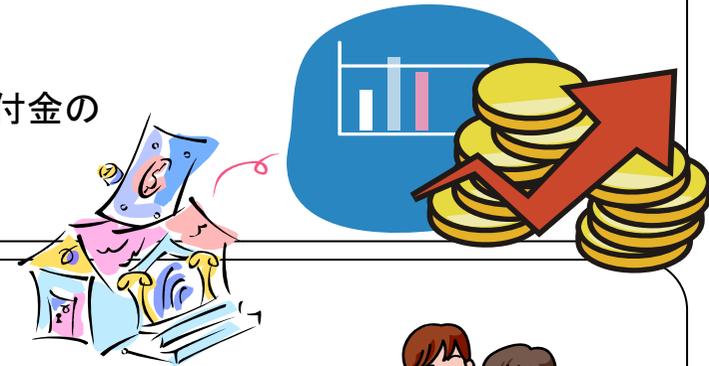


地域活性化・生活対策臨時基金積立金その他の事業

●地域活性化・生活対策臨時基金積立金【 97,000千円】

《事業内容》

地域活性化等に資する事業の財源として交付される地域活性化・生活対策臨時交付金の一部を平成21年度に実施する事業に充当するため基金を造成し積立てを行う。



●介護従事者処遇改善臨時特定基金積立金【 61,676千円】

《事業内容》

介護従事者の処遇改善とそれに伴う急激な保険料の上昇を抑制するため交付される介護従事者処遇改善臨時特例交付金を平成21年度、22年度において介護保険事業特別会計に繰入するため基金を造成し積立てを行う。



●その他地域経済活性化・生活対策臨時交付金事業【 7,915千円】

《事業内容》

①中心市街地歴史的建造物調査事業(1,620千円)

産学官が協働で中心市街地の歴史的建造物の調査を行い、まちづくりに活かすための基礎資料を整備する。

②中間支援組織運営支援事業(4,300千円)

市民活動の活性化を図るため「(仮称)市民活動支援センター」を運営する中間支援組織の活動に対して支援を行う。

③子育て情報発信事業(1,995千円)

子育てガイドブック、父子手帳の発行等により家庭における子育てを支援する。

